

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	看護管理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	3学年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	澤本 万紀子	実務経験とその関連資格	実務経験:助産師、看護助産専門学校教員・教育主事、行政職、副看護部長・看護部長 資格:看護師、助産師□			
《科目目標》 看護の対象となる人々に最も良質で効果的な看護を提供するための「しくみ」について説明できる。						
《成績評価の方法と基準》 授業参加度/終講試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 1) 吉田千文他編:ナースィング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理,メディカ出版,2023. 2) 講義資料						
《授業外における学習方法》 指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》 実習において、指導者や看護師長等の管理に関すると思われる行動を観察し、その意味を考えておくこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業到達目標	人々の生活と看護のかかわりを理解する	看護管理 p16-36		医療に関わる多職種の役割は?実習や患者経験を思い出し、どんな病院や医療が求められているか考えてきてください。
		授業予定	看護職の活動の多様性、多職種との連携、看護の活動の変遷を理解し、社会が看護に何を期待しているか、看護の役割を考える。			
第2回	講義形式	授業到達目標	看護マネジメントの基礎知識を理解する	看護管理 p38-121		国試出題基準: 看護マネジメントの目的とプロセス 看護組織の構成と職務
		授業予定	協働、多職種連携、チーム医療			
第3回	講義形式	授業到達目標	看護マネジメントの基礎知識を学ぶ②	看護管理 p76-121		国試出題基準: 看護マネジメントの目的とプロセス 医療・看護の質保証と評価
		授業予定	看護マネジメントの定義、組織、分業と協働のしくみ、看護サービスのマネジメント			
第4回	講義形式	授業到達目標	何のためにマネジメントするのか?看護師の仕事とマネジメントを理解する	看護管理 p98-157		国試出題基準: 医療・看護の質保証と評価 医療・看護の標準化 看護業務基準、看護手順 看護提供システム 看護の交代勤務
		授業予定	効果的に仕事をするとは、 看護マネジメントで重要なこと、人・モノ・情報・カネの管理 看護提供システム			
第5回	講義形式	授業到達目標	看護の質向上、看護と経営について考える	看護管理 p160-213		国試出題基準: 看護業務基準、看護手順 看護提供システム 看護師等の労働安全衛生 WLBを促進する働き方
		授業予定	看護マネジメントと倫理、医療安全、医療・看護の質と評価 医療と経済、看護にかかわる医療・介護制度、看護活動と経営			
第6回	講義形式	授業到達目標	看護マネジメントに求められる能力を理解する	看護管理 p216~253		国試出題基準: 医療・看護の質保証と評価 複数の看護業務が同時に発生した場合の判断や対処方法
		授業予定	業務のマネジメント、セルフマネジメントのスキル、人とかかわるためのスキル、集団に働きかけるスキル、看護管理能力の基盤となる理論			
第7回	講義形式	授業到達目標	看護活動をとりまく法律・制度を理解する 看護職とキャリアについて考える	看護管理 p256-319		国試出題基準: 看護行政の動向と看護マネジメント
		授業予定	看護管理関連法規、保健医療福祉政策と動向、看護と専門機関・職能団体 社会人とは・働くとは、看護の教育体系、看護職としてのキャリア、専門職			
第8回		授業到達目標	到達状況評価			
		授業予定	終講試験			